

国土交通省や県、電源開発などの関係機関でつくる天竜川流砂系協議会はこのほど、土砂災害や海岸浸食など天竜川流域の課題を包括的に解決するための総合土砂管理計画を公表した。天竜川河口部

の海岸線の後退抑止や砂浜の回復などを目標に掲げ、行政やダム管理事業者などが連携して土砂管理を推進する。天竜川の佐久間ダム貯水池上流端から下流が対象域。天竜川は地

質のもろい中央構造線沿いを流れ、佐久間ダムなどへの土砂の流入量は多い。堆積土砂による貯水能力の低下や洪水時の水位上昇などが長年懸念されている。海岸浸食への影響も大きく、高潮被害な

どが想定されるといふ。1987年ごろから2005年までの間で約100㊦の海岸浸食が進行したとされる。土砂管理対策として、ダム底に堆積した土砂を掘削して放流時に下流に流すなどの方法で、河口までの到達土砂量を増やす方針。佐久間ダムでは同様の方法で試験的に実施している。

天竜川流砂系協議会 土砂管理計画公表

海岸線の後退を抑止

2018年4月3日 朝刊

①天竜川河口部では、1987年～2005年の間に何m海岸浸食が進んでいますか。

[]

②国や県は、どんな方法で海岸線の後退を止めようとしていますか。

[]

③海岸線の後退を食い止めるために、どんなことをすればいいと思いますか。

[]

年 組 名前

(小学校高学年以上・中学校・高校 理科・総合)